











音声認識機能

補足版



Mercedes-Benz

表記と記載内容について

マーク	内容
	警告 重大事故や命にかかわるけがを未然に防ぐために必ず守っていただきたいことです。
	環境 環境保護のためのアドバイスや守っていただきたいことです。
	注意 けがや事故、車の損傷を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことです。
	知識 知っていると便利なことや、知っておいていただきたいことです。
	操作手順などを示しています。
(▷ ページ)	関連する内容が他のページにもあることを示しています。
画面設定	このフォントはマルチファンクションディスプレイ / COMAND ディスプレイの表示メッセージを示します。
	このマークはお客様が発声することを示します。
	このマークは音声認識機能から音声出力があることを意味しています。
	このマークはシステムがディスプレイにメッセージを表示していることを示します。

メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます。

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告事項についてのご理解を深めてください。

お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

お客様の車両の装備や名称は、オプションにより異なる場合があります。

メルセデス・ベンツは車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

以下のものは、車両の一部ですので、常に車両に搭載してください。

- 取扱説明書
- 整備手帳
- 補足版

また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべてをお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社

さくいん..... 4	各部の名称..... 9
概要..... 7	操作..... 13
	音声コマンドリスト..... 33
	実用的なアドバイス 41
	個人の設定..... 45

あ

アドレス帳	
音声コマンドリスト	37
操作	25
アドレス帳の音声コマンド	
アドレス帳削除	26
アドレス帳の説明	26
アドレス帳読み上げ	26
電話帳読み上げ	26
登録先に電話する	26
登録先を検索	26
名前削除	26
名前を登録	26
アプリケーション	10
音声コマンドの種類	10
音声コマンドリスト	
アドレス帳の音声コマンド	37
オーディオ / ビデオの音声コマンド	38
一般的な音声コマンド	34
電話の音声コマンド	35
ナビゲーションの音声コマンド	35
音声認識	
開始	11
中止	11
音声認識学習	46
音量	
調整	12

か

外部機器	31
確認	
電話の音声コマンド	15
言語設定	48
コマンドリスト	
電話	14
ミュージックサーチ	39

さ

施設	22
-----------	----

修正

電話の音声コマンド	15
ナビの音声コマンド	21
住所の入力	21
消去	
電話の音声コマンド	16
数字を入力する	42
一般的な音声コマンド	
音声コマンドリスト	34
操作	
アドレス帳	25
電話	14
ナビ	19
TV	30

た

着信履歴	18
ディスプレイ	12
テレビ	
音声コマンドリスト	38
テレビの音声コマンド	
シークアップ / シークダウン	30
説明	30
チャンネルを選択する	31
放送局リスト読み上げ	31
電話	
音声コマンドリスト	35
操作	14
電話帳	
読み上げ	17
電話の音声コマンド	
名前登録	16
確認	15
修正	15
着信履歴	18
電話帳読み上げ	17
電話の説明	14
電話をかける	14
トーン信号の送信	18
登録先に電話する	17
発信履歴	18
やり直す	16

リダイヤル	18
電話をかける	14
トーン信号の送信	18
登録先に電話する	
アドレス帳	17

な

ナビ	
音声コマンドリスト	35
住所の入力	21
操作	19
ナビの音声コマンド	
案内開始	24
案内再開	24
案内中止	24
位置データがあるアドレス帳の読み上げ	24
現在地	19
施設	22
自宅	23
修正	21
住所の入力	21
前回の目的地	23
地図向き	20
通過点	21
電話番号検索	22
到着予想時刻	19
登録地	23
道路の種類	19
ナビの説明	19
別ルート	24
メモリー地点	23
メモリー地点に登録する	23
目的地を検索する	24
目的地を設定する	21
郵便番号検索	22
ルートを変更する	24
ETCカード	21
VICS	20
名前登録	
アドレス帳	16

は

はじめに	10
発信履歴	18
ヘルプ	
ディスプレイ情報	12
ヘルプ機能	42
ヘルプの音声コマンド	
アドレス帳の説明	26
外部機器	31
説明	42
テレビの説明	30
ナビゲーションの説明	19
ラジオの説明	27
DVDの説明	29
ヘルプ表示	46

ま

マルチファンクションステアリング	11
ミュージックサーチ	
音声コマンドリスト	39
メディアインターフェース	
操作	31

ら

ラジオ	
音声コマンドリスト	38
ラジオの音声コマンド	
交通情報	29
シークアップ / シークダウン	27
周波数バンドの選択	27
選局	27
放送局読み上げ	28
放送局選択	28
放送局を削除	28
放送局をすべて削除	28
ラジオの説明	27
リダイヤル	18

英字

AUX	
操作	31
Bluetooth® オーディオ	31
CD	
音声コマンドリスト	38
DVD	
音声コマンドリスト	38
DVD の音声コマンド	
チャプター	29
ヘルプ DVD	29
ETC カード	21
iPod®	31
TV	
操作	30
USB	
操作	31
VICS	20

使用に関する安全性

警告

音声認識機能は交通状況からお客様の注意をそらすことがあります。事故の原因になったり、お客様自身や他の方がけがをするおそれがあります。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能を操作してください。運転を開始する前に音声認識機能に慣れ親しんでください。

警告

緊急時など緊張しているときは、声が変わることがあります。これにより音声認識機能が正しく作動しない場合があります。

結果として、希望の電話接続が迅速にできないことがあります。注意がそれ、緊急時には状況の概要を失い、事故の原因になります。

このため、緊急時には音声認識機能は使用しないでください。

概要.....	10
---------	----

概要

役に立つ情報

i この取扱説明書では、取扱説明書発行時点でお客様の車両に装着可能な、すべての標準およびオプション装備について記載しています。国により、仕様が異なる場合があります。本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない場合があることにご留意ください。このことは、安全に関する装備や機能にも当てはまります。

i 車両の取扱説明書にあるメルセデス・ベンツ指定サービス工場についての情報をお読みください。


概要

音声認識機能は車両の装備によって以下のシステムを操作することができます。

- 電話
- ナビゲーション
- アドレス帳
- オーディオ (ラジオ、CD/DVD チェンジャー、メモリーカード、メディアインターフェース、USB、Bluetooth® オーディオ)
- テレビおよびビデオ (外部入力ビデオ)

個々の単語のあいだで区切らずに音声コマンドを発声してください。存在しない音声コマンドを入力した場合は、音声認識機能は新しい音声コマンドの後に "もう一度繰り返してください" と応答します。

音声認識機能は、重要な音声コマンドを入力したときは確認を行ない、適切でない入力を行なったときはそのことを知らせます。

音声コマンド "中止" またはステアリングの  スイッチを押すことにより、いつでも音声対話を終了することができます。

音声コマンドの種類

音声認識機能の音声コマンドの種類は以下のように区別されます。

- 全般的な音声コマンド
これらはいつでも呼び出すことができる音声コマンドです (音声コマンド "電話で使えるコマンド" または "ナビの説明" など)。
- 特定の音声コマンド
これらは作動しているアプリケーションでのみ使用可能な音声コマンドです (ナビゲーション機能 "3D表示" など)。

アプリケーションの作動

特定の音声コマンドは、現在ディスプレイに表示されているアプリケーションや、そのとき聴いているオーディオソースを参照します。

同時に 1 つ以上のアプリケーションを操作することができます。例えばナビゲーションおよびラジオのアプリケーションが作動しているときは、同時に両方のアプリケーションを操作することができます。

音声認識機能を使用して他の機能进行操作したい場合は、まず適切な音声コマンドで該当するアプリケーションに切り替えなければなりません。








マルチファンクションステアリングを使用時の操作

音声認識機能はイグニッションをオンにしてから約 30 秒後に操作可能になります。

i 音声認識機能はいつでも中止できます。




マルチファンクションステアリング

①		音声認識機能での対話を終了する
②		音声認識機能を開始する
		通話を受ける
		通話を終える
		音量を下げる
		音量を上げる
		ミュート機能

音声認識の開始

i 音声認識機能はイグニッションをオンにしてから約 30 秒後に操作可能になります。

- ▶ イグニッションをオンにします（車両の取扱説明書を参照してください）。
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

信号音が聞こえます。音声認識が開始されます。

- ▶ 音声コマンドを発声します。


音声認識の中断 / 継続

音声認識を中断する


選択リストがディスプレイに表示されている場合は、対話を中断することができます。

- ▶ 音声コマンド "一時停止" を発声します。その後に COMAND コントローラーを使用して、項目を選択できます。

音声認識を継続する

- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。音声認識機能が再開されます。

音声認識の中止

- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

または


- ▶ 音声コマンド "中止" を発声します（音声タグを録音しているとき、音声タグ認識中または音声認識学習中を除く）。

または

- ▶ COMAND システムのいずれかのスイッチを押します。



音声認識機能は、中止したことを通知します。

または

- ▶ マルチファンクションステアリングの  スwitchを押します。

音声認識機能は、確認せずに対話を中止します。

音量の調整

- ▶ 音声認識を開始します。
- ▶ "説明" のような音声コマンドを発声します。
- ▶  または  スwitchを押します。
音声が出力されている間に、音量が上がるか、または下がります。

または

- ▶ COMAND システムの音量ダイヤルで音声出力の音量を調整します（車両の取扱説明書を参照してください）。

ヘルプ機能

音声認識機能には、音声による多くのヘルプ機能があります。音声コマンド"デンワノセツメー"を発声すると、音声認識機能は電話の主要な音声コマンドをすべて読み上げます。

特定のアプリケーションのヘルプコマンドは関連するセクションにあります。さらなるヘルプの音声コマンドは、(▷34 ページ) にあります。

ヘルプ機能のさらなる情報はこちらをご覧ください (▷42 ページ)。


ディスプレイのメッセージ


音声のヘルプ機能は、ディスプレイのヘルプ表示によって補うことができます (▷46 ページ)。ヘルプ機能がオンのときは、音声認識を開始するときに、そのときに可能な最も重要な音声コマンドがディスプレイに表示されます。

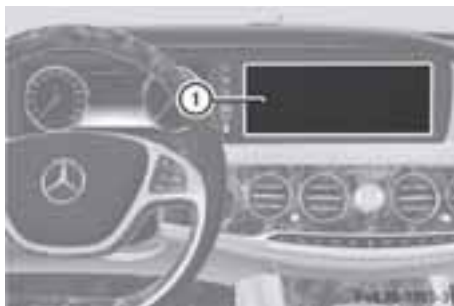
音声認識機能がさらなる選択を要求する場合は、結果のリストがディスプレイに表示されます。

該当する場合は、行番号または内容を発声することにより、リストの項目を選択できます。音声コマンド"次のページ"または"前のページ"を使用して、リストをスクロールできます。

音声コマンド"一時停止"で音声認識を中断できます。COMAND コントローラーを使用して、リストで希望する項目を見つけることができます。音声コマンド"修正"で情報を再び入力するように促されます。

選択リストが表示されている間に  スwitchを押した場合は、そのとき強調されている項目が選択されます。

リストが読み上げられている間に  スwitchを押すと、そのときの項目が選択されます。



図は COMAND システムを示しています。

① COMAND ディスプレイ

電話	14
ナビゲーション	18
アドレス帳	25
ラジオ	27
CD/DVD モード	29
テレビモード	30
外部機器	31

電話

留意点

 警告

走行中に携帯情報機器を操作すると、交通状況から注意がそれのおそれがあります。車のコントロールを失うおそれもあります。事故の危険性があります。

車両が停止しているときにのみ、この機能を使用してください。

緊張した状況では声の音が変わることがあるため、緊急時には音声認識システムを使用しないでください。電話の発信が遅れることがあります。

操作


音声認識機能を使用して以下のことができます。



- 電話番号を発声して電話接続をする
- 名前および番号をアドレス帳に登録する
- アドレス帳から番号をダイヤルする
- 電話帳を読み上げさせる
- トーン信号を送信する
- 番号をリダイヤルする

音声認識機能は以下のことを検知します。

- 電話がオンになっていること
- 電話が Bluetooth® により接続されていること
- 電話が適切な携帯のネットワークにログインしていること
- ダイヤルが可能なこと

ダイヤルが可能でないときは、音声認識機能がこの旨のメッセージを出します。

 テンキーを使用して電話の操作を続けることができます。

- ▶ **電話のアプリケーションを選択する：**
マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 音声コマンド "電話" を発声します。
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明する電話の音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

" 電話の説明 "

音声コマンド "電話の説明" を使用して、電話の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます (▷42 ページ)。

" 電話をかける "

音声コマンド "電話をかける" を使用して、電話番号をダイヤルできます。











0 から 9 の数字と " + " の文字が使用できます。


" + " は "00" のような国際電話コードの代わりになります。

連続した一連の数字の形式、または 3 ~ 5 桁のような数字のブロックとして電話番号を発声してください。

それぞれの数字の文字の後に音声認識機能は認識した数字を繰り返します。その後、お客様が続いて発声するまで待ちます。

音声認識の例









-  電話をかける
-  番号で電話しますか？
登録先に電話しますか？
-  番号で電話する
-  電話番号をお話してください
-  0130
-  0130
-  5005
-  5005
-  発信
-  電話します

i 終了の音声コマンド "はい" の代わりに、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押すと、特定の番号をダイヤルすることもできます。

"確認"

番号を入力しているとき、音声コマンド "確認" を使用して、発声したすべての数字を音声認識に繰り返させることができます。そして音声認識機能は、入力続けるように促します。

音声認識の例















-  電話をかける
-  番号で電話しますか？
登録先に電話しますか？
-  番号で電話する
-  電話番号をお話してください
-  0130
-  0130
-  確認
-  続きの番号か発信、または修正とお話してください

-  5005
-  5005
-  発信
-  電話します

"修正"

番号を入力しているとき、音声コマンド "修正" を使用して、最後に発声した数字のブロックを訂正できます。この音声コマンドを発声すると、音声認識機能は数字の最後のブロックを消去して、ここまですでに入力された数字を繰り返します。そして音声認識機能は、入力続けるように促します。

















音声認識の例

-  電話をかける
-  番号で電話しますか？
登録先に電話しますか？
-  番号で電話する
-  電話番号をお話してください。
-  0130
-  0130
-  5005
-  5095
-  修正
-  続きの番号か発信、または修正とお話してください
-  5005
-  5005
-  発信
-  電話します

"やり直す"

番号を入力しているとき、音声コマンド "やり直す" を使用して、入力されたすべての数字を消去できます。この音声コマンドを発声した後で、音声認識機能は追加する数字または音声コマンドを入力するように促します。

音声認識の例

-  電話をかける
-  番号で電話しますか?
登録先に電話しますか?
-  番号で電話する
-  電話番号をお話してください
-  0130
-  0130
-  5005
-  5005
-  やり直す
-  入力された電話番号を削除します。
電話番号をもう一度お話しください
-  0373
-  0373
-  391
-  391
-  発信
-  電話します

"名前登録" (アドレス帳)

音声コマンド "名前を保存する" を使用して、特定の人専用ボイスタグを付けて電話番号を保存します。このコマンドは、走行中に電話番号を記憶させる場合などに使用します。音声コマンドを発声しているとき、ディスプレイに数字がない場合は、音声認識機能は電話番号を入力するかどうかを確認します。

0 から 9 の数字と "+" の文字が使用できます。








"+" は "00" のような国際電話コードの代わりになります。

連続した一連の数字の形式、または 3 ~ 5 桁のような数字のブロックとして電話番号を発声してください。

それぞれの数字の文字の後に音声認識機能は認識した数字を繰り返します。その後、お客様が続いて発声するまで待ちます。

"登録" と発声すると、音声認識機能は 2 ~ 3 回その名前を発声するように指示します。名前を繰り返す際には、初回るときと同じように正確に発音するようにしてください。そうしないと、名前が保存されず、音声認識機能は保存手順を中止することがあります。

音声認識の例

-  名前登録
-  電話番号をお話してください
-  0130
-  0130
-  5005
-  5005
-  登録

電話番号を既存のアドレス帳に追加しますか？

いいえ

新しく登録するお名前をお話ください

鈴木太郎

もう一度お名前をお話してください

鈴木太郎

登録には2回入力が必要です

鈴木太郎

決定。番号をカテゴリーに登録しますか？

仕事関連

カテゴリーを追加しますか？

いいえ

番号 鈴木太郎 仕事関連が登録されました

"登録先に電話する" (アドレス帳)

音声コマンド"登録先に電話する"を使用して、アドレス帳から名前を選んで電話できます。

音声タグまたは名前の項目の発声のいずれかを選ぶことができます。

名前の項目では、以下の方法で名前の項目を発声できます。

- 名のみ
- 姓のみ
- 名と姓
- 姓と名

音声認識の例

登録先に電話する

お名前をお話してください

鈴木太郎

項目に1つ以上の電話番号がある、または複数の同じ項目がある場合は、音声認識機能はこのことをたずねます。

プライベートですか？仕事関連ですか？

仕事関連

鈴木太郎 仕事関連 電話します

"名前を削除する" (アドレス帳)

(▷26 ページ)

"登録先を検索"

(▷26 ページ)

"電話帳読み上げ"と電話番号のダイヤル

音声コマンド"電話帳読み上げ"を使用して、電話番号が登録されているアドレス帳の項目すべてを読み上げさせることができます。必要に応じて項目を選択できます。

音声認識の例

電話帳読み上げ

システムは電話番号のあるすべての電話帳項目を読み上げます。

▶ **名前と番号を選択する**：希望の項目でマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

項目に1つ以上の電話番号があるときは、音声認識機能がこのことをたずねてきます。

どの電話番号に電話しますか？プライベートですか？仕事関連ですか？

プライベート

"リダイヤル"

音声コマンド"リダイヤル"を使用して、発信した直近の番号をリダイヤルできます。

"発信履歴"


音声コマンド"発信履歴"により、最近ダイヤルした電話番号のリストを呼び出すことができます。これらの番号の中から電話をかけることができます。

"着信履歴"

音声コマンド"着信履歴"により、最近着信した電話番号のリストを呼び出すことができます。これらの番号の中から電話をかけることができます。

トーン信号の送信

通話中に音声認識機能をして、トーン信号を送信することができます。

- ▶ 通話中に、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 必要な数字("0"から"9")を発声します。

または

- ▶ 必要な単語"アスタリスク"または"シャープ"を発声します。
- ▶ 終了させる音声コマンド"はい"を発声します。
システムは入力した番号に発信します。

ナビゲーション

留意点

警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。



ナビゲーションシステムは一般の交通状況を考慮したり、危険や障害物を認識することはできません。そのため、どのような危険をも認識しそれらに反応できるように常に一般の道路や交通状況に気をつけてください。

ナビゲーションメッセージは、走行中に交通状況または運転から注意をそらすことなく、案内を行ないます。地図表示に代わる案内として、常にこの機能を使用してください。マークまたは地図表示は、交通状況および運転から注意をそらすおそれがあります。

ルート案内は推奨を提供するだけです。常に道路交通法に従い、一般の状況に運転スタイルを合わせてください。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 住所検索
 - 郵便番号で検索する
 - 電話番号で検索する
 - 通過点を入力する
 - 地図に施設を表示する
 - 以前の目的地を選択する
 - 地図を表示する
 - 地図を拡大 / 縮小する
 - 地図の向きを設定する
 - 2D/3D 地図表示に切り替える
 - 位置データのあるアドレス帳を読み上げる
 - ルート案内を開始 / 中断する
 - VICS 情報を表示させる
 - ルートを再検索する
- ▶ **ナビのアプリケーションを選択する** : マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 音声コマンド "ナビ" を発声します。
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明するナビの音声コマンドのいずれかを発声します。

音声コマンド

必要な住所データがすべて入力されるまでルート案内を開始することはできません。住所を入力する音声コマンドは (▷ 21 ページ) をご覧ください。

" ナビの説明 "

音声コマンド "ナビの説明" を使用して、ナビゲーションシステムの主要なコマンドを読み上げさせます。

最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。主要なカテゴリーを選択すると、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

" 現在地 "

この音声コマンドを使用して、地図上の現在の車両位置を表示できます。

" 到着予想時刻 " または " ルート情報 "

音声コマンド "到着予想時刻" または "ルート情報" を使用して、現在計画されているルートに基づいた予想到着時間をシステムに読み上げさせることができます。

" 現在の道路 "

音声コマンド "現在の道路" を使用して、道路の種類と、可能であれば道路の番号を読み上げさせることができます。

" 音声案内オフ " または " 音声案内オン "

この音声コマンドを使用して、ルート案内の音声出力のオン / オフを切り替えることができます。

音声コマンド "音声案内オン" を使用すると、音声認識機能は最後の音声案内も繰り返します。

" 詳細 " または " 広域 "

これらの音声コマンドを使用して、ディスプレイの地図の縮尺を大きくしたり小さくしたりできます。

"最小スケール" または "最大スケール"

これらの音声コマンドを使用して、地図の表示を最小または最大の縮尺に直接設定できます。

地図の縮尺の直接入力

"100m スケール" などのような、以下の音声コマンドを使用して、地図表示の縮尺を直接入力することができます。

以下の設定が可能です。

- 20m、50m、100m、200m、500m
- 1km、2km、5km
- 10km、20km、50km
- 100km、200km、500km、1000km

"コンパス"

この音声コマンドを使用して、ディスプレイにコンパスを表示できます。

"地図向き"

i この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップとヘディングアップとに切り替えることができます。

"ノースアップ"

i この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップに設定できます。

"ヘディングアップ"

i この機能は 2D 表示のときのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをヘディングアップに設定できます。

"2D 表示"

この音声コマンドを使用して地図を 2D で表示できます。

"3D 表示"

この音声コマンドを使用して地図を 3D で表示できます。

ルート案内中に表示を切り替える

ルート案内が作動しているとき、異なる表示に切り替えることができます。

以下の表示が可能です。

- ルート全体の表示
- 都市高 3D 図の表示
- 都市高 3D 図の非表示

VICS 音声コマンド

VICS (道路交通情報通信システム) は車両に交通渋滞の即時情報を供給します。この情報は文字または図形でディスプレイに表示されます。

以下の音声コマンドが可能です。

- "VICS 高速表示"
- "VICS 高道表示オフ"
- "VICS 一般道表示"
- "VICS 一般道表示オフ"
- "VICS すべての道路表示"
- "VICS すべての道路表示解除"
- "VICS 渋滞情報表示"
- "VICS 渋滞表示オフ"
- "VICS 順調線表示"
- "VICS 順調線表示オフ"
- "VICS 規制情報表示"
- "VICS 規制情報表示オフ"
- "VICS 情報あり"

- "VICS 情報なし "
- " 渋滞情報 "

音声認識機能は、交通渋滞付近の地図エリアを表示したいかをたずねます。

"ETC カード "

この音声コマンドを使用して ETC カードの状態を照会できます。





住所の入力

システムは音声認識により、ルート案内へ導きます。有効な住所を入力するとすぐに、音声認識機能はルート案内を開始したいかをたずねてきます。

" 目的地設定 "

i この機能は日本語でのみ使用できます。

音声認識の例

-  目的地設定
-  施設で検索しますか？ 住所で検索しますか？
-  住所
-  都道府県から住所をお話してください









" 住所 "

i この機能は日本語でのみ使用できます。

音声コマンド " 住所 " を使用して、住所を入力できます。

住所を音声で入力する際はデータベース通りに入力してください。たとえば、東京都港区六本木 1-9-9 を入力する際は「六本木」と「1」を区切らず、一語でお話ください。

音声認識の例

-  住所
-  都道府県名から住所をお話してください
-  東京都港区六本木
-  よろしければ検索 続ける場合は続きの住所をお話してください 修正する場合は修正と 最初からやり直す場合はやり直すとお話してください
-  検索
-  ルート案内を開始してよろしいですか？
-  はい
-  ルート案内を開始します

" 修正 "



住所の一部を入力した場合は、音声コマンド " 戻る " を使用して最後の入力を繰り返すことができます。

" 通過点 1 設定 "

i この音声コマンドは目的地点が設定されていて、ルート案内が作動しているときにのみ使用できます。

この音声コマンドを使用して、4 つまでの通過点を現在のルート案内に選択できます。これをするために、目的位置の地図が表示されていなければなりません。



音声認識の例

-  通過点 1 設定
-  ここを通過点 1 に設定します

" 通過点 1 削除 "


この音声コマンドを使用して既に設定した通過点を削除できます。通過点を設定していない、または選択した通過点を既に通過した場合は、システムはそのように知らせます。

音声認識の例









-  通過点 1 設定
-  通過点 1 を削除します


郵便番号検索

音声コマンド " 郵便番号 " を使用して、郵便番号を入力してルート案内を開始することができます。

 郵便番号を一桁ずつ発声してください。10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。


音声認識の例

-  郵便番号
-  郵便番号をお話してください
-  1068506
-  1068506
-  検索
-  1068506 を表示します
-  ルート案内を開始してよろしいですか？
-  はい
- ルート案内を開始します。









 郵便番号に複数の住所が含まれる場合は、システムによる検索はできません。

電話番号検索

音声コマンド " 電話番号 " を使用して、電話番号を入力して施設を検索できます。

 電話番号を一桁ずつ発声してください。10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。

音声認識の例

-  電話番号
-  電話番号をお話してください
-  0312345678
-  0312345678
-  検索
-  0312345678 を地図を表示します
-  ルート案内を開始してよろしいですか？
-  はい
- ルート案内を開始します。


" 施設 "

音声コマンド " 施設 " のあとに施設の電話番号を入力することで施設検索が行なえます。

音声認識の例

-  施設
-  電話番号をお話してください

施設のアイコンを表示する / 非表示にする

 地図の縮尺が 500 メートルまたはそれ以下に設定されているときにのみ施設のマークが表示されます。

以下の音声コマンドを使用して、地図上のマークを表示したり非表示にすることができます。

- " *** 表示 "
- " 地図アイコンオフ "

*** には以下のものを入れることができます。

- レストラン
- コンビニエンスストア
- ガソリンスタンド
- 駐車
- 銀行
- 個人設定

音声認識の例

 レストラン表示

 レストランアイコンを表示します。

" 目的地の履歴 "


音声コマンド " 目的地の履歴 " を使用して、以前選択した目的地のリストから目的地を再び選択することができます。


" 位置データ "

音声コマンド " 位置データ " を使用して、現在表示されている地図データをアドレス帳に保存することができます。

音声認識の例

 位置データ

 位置データを既存のアドレス帳に追加しますか？


 はい

 登録するお名前をお話してください

 鈴木太郎

" メモリー地点 "

音声コマンド " メモリー地点 " を使用して、現在の車両位置を保存できます。

 メモリー地点


 メモリー地点に登録しました

" 登録地 1 "

この音声コマンドを使用して、事前に登録した目的地を呼び出し、この目的地までのルート案内を開始できます。3 つまでの目的地を事前に設定できます。

音声認識の例

 登録地 1

 登録地 1 を目的地に設定しますか？

 はい


 登録地 1 を目的地に設定しました

" 自宅 "


この音声コマンドを使用して、自宅住所までのルート案内を開始できます。このためには、事前に COMAND システムに自宅住所を登録しなければなりません。

音声認識の例

 自宅

 自宅を目的地に設定しますか？


 はい

 自宅を目的地に設定します

" 登録先に案内する "

音声コマンド " 登録先に案内する " を使用して、アドレス帳に登録されている住所を選択し、ルート案内を開始することができます。


音声認識の例

 登録先に案内する

 お名前をお話してください

 鈴木太郎

 鈴木太郎 確認しました

 ルート案内を開始してよろしいですか？


 はい

 ルート案内を開始します。


"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"


音声コマンド"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"を使用して、目的地住所が登録されているアドレス帳の項目すべてを読み上げさせることができます。希望であれば、ルート案内の目的地として項目を設定できます。

音声認識の例

 位置データがあるアドレス帳の読み上げ

システムがアドレス帳の目的地メモリーから項目を読み上げます。

▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

 1つ以上の住所がある場合は、システムは"どちらに案内しますかプライベートですか？仕事関連ですか？"とたずねます。

 プライベート

 ルート案内を開始します。

"案内開始"

音声コマンド"案内開始"を使用して、目的地が表示されているときに、ルート案内を開始できます。

音声案内の例

 案内開始

 ルート案内を開始します。

"案内中止"

この音声コマンドを使用してルート案内を中止できます。

音声認識の例

 案内中止

 ルート案内を中止します

"案内再開"

この音声コマンドを使用して中断されているルート案内を再開できます。

音声認識の例

 案内再開

 ルート案内を再開します

"別ルート"

このコマンドを使って、別のルートを通る案内を選択できます。


ルートを変更する

以下の音声コマンドを使用して、ルートの案内方法を変更できます。特定の 카테고리を選択できます。

- 有料道路優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 別ルート
- ルートの再検索
- 迂回ルート

音声認識の例

 距離優先

 距離優先で再探索します

アドレス帳

留意点

警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

概要

アドレス帳を使用して、個人情報を項目の形式に登録できます。

音声認識機能を使用して、アドレス帳に登録されている電話番号をダイヤルしたり、登録されている住所にルート案内を開始できます。

アドレス帳の氏名欄にあるすべての項目は音声認識機能によって認識できます。

アドレス帳項目の認識は入力された氏名によります。

選択している間は、以下の方法で検索が可能です。

- 名のみ
- 姓のみ
- 名と姓
- 姓と名


アドレス帳項目の以下のことを確認します。

- 姓と名などの氏名項目が正しい欄にある
- 略語や頭文字が使われていない
- 氏名に不必要なスペースがない
- 特別な文字が使用されていない


操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- 名前を登録する
- 登録先に電話する
- 音声登録を削除する
- アドレス帳を読み上げ
- 位置データのあるアドレス帳を読み上げる (▷24 ページ)
- 音声登録をすべてを削除する
- アドレス帳を開く
- アドレス帳から項目を開く
- 電話帳を読み上げる (▷17 ページ)

▶ **アドレス帳のアプリケーションを選択する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

▶ 音声コマンド "アドレス帳" を発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

▶ 以下に説明するアドレス帳音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

" 説明 "

音声コマンド " アドレス帳の説明 " を使用して、アドレス帳の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます。

" 名前登録 "

(▷16 ページ)

" 登録先に電話する "

(▷17 ページ)

" 登録先を検索 "

音声コマンド " 登録先を検索 " を使用して、アドレス帳で氏名を探します。







例えば以下のように、音声認識機能はどのような動作を実行したいのかをたずねます。

- 対応する電話番号に電話する
- 登録した住所にルート案内を開始する
- 項目を開く

" 名前削除 "

音声コマンド " 名前削除 " を使用して、アドレス帳から音声タグを削除します。

音声認識の例

-  名前削除
-  お名前をお話してください
-  鈴木太郎
-  鈴木太郎を削除しますか？
-  はい
-  音声登録を削除しました


" アドレス帳読み上げ "


音声コマンド " アドレス帳を読み上げる " を使用して、アドレス帳にあるすべての氏名と登録した音声を読み上げさせることができます。そうしている間に項目を選択することができます。

音声認識の例

 アドレス帳を読み上げる

システムはアドレス帳のすべての項目を読み上げます。多くの項目があるときは、システムはどの項目から読み上げ始めるかをたずねます。

 氏名を言わないときは、音声認識機能はアドレス帳の全ての項目を読み上げます。

▶ **アドレス帳の項目を選択する**：選択する項目で  スイッチを押します。

項目が選択されます。

その後、音声認識機能は選択した項目でどのような動作を実行したいのかをたずねます。

" 電話帳読み上げ " と電話番号のダイヤル

(▷17 ページ)

" アドレス帳削除 "

音声コマンド " アドレス帳削除 " を使用して、アドレス帳の個別の音声登録またはすべての音声登録を削除することができます。住所データおよび名前の項目は削除されません。

" 位置データがあるアドレス帳の読み上げ " と目的地へのナビ

(▷24 ページ)

ラジオ

留意点

警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

音声コマンド

"ラジオの説明"

音声コマンド"ラジオの説明"を使用して、ラジオのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。主要なカテゴリーを選択すると、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

周波数バンドを選択する

以下の音声コマンドを使用して、周波数バンドを設定できます。

- "FM"
- "AM"

"シークアップ"/"シークダウン"

以下の音声コマンドを使用して、次に受信可能な放送局に切り替えることができます。


- "シークアップ"
- "シークダウン"

周波数を選択する

FM帯(76.0～90.0MHz)およびAM帯(531～1602kHz)で、ラジオ周波数を直接選択することができます。音声認識機能は"周波数"や"てん"、"メガヘルツ"、"キロヘルツ"の単語も認識できます。

音声認識の例


 81.3MHz


 音声認識機能は周波数を設定します。

プリセット0"から"プリセット99"

音声コマンド"プリセット0"から"プリセット99"を使用して、事前に登録した放送局をプリセット番号を使用して呼び出すことができます。

音声認識の例

 プリセット1


 音声認識機能はそのプリセットと関連のある周波数を設定します。

"放送局選択"


音声コマンド"放送局選択"を使用して、放送局を選択します。

音声認識の例

 放送局選択

 放送局名をお話してください

 FM 横浜


 音声認識機能は放送局を設定します。

" 放送局<放送局名> "

この音声コマンドを使用して、放送局を直接選択できます。放送局の名前が変わってしまった場合は、使用できません。

音声認識の例

 例) 放送局 FM 横浜

 音声認識機能は放送局を設定します。

" 放送局読み上げ " と放送局の選択

音声コマンド " 放送局読み上げ " を使用して、許容できる受信品質のすべての放送局のリストを聞くことができます。放送局リストから放送局を選択することもできます。

音声認識の例

 放送局読み上げ

システムは放送局リストを読み上げます。

希望する放送局が読み上げられたとき


▶  スイッチを押します。


システムは対応する周波数を設定します。

" 放送局削除 "


音声コマンド " 放送局の削除 " を使用して、放送局リストから1つの音声タグを削除できます。

音声認識の例

 放送局削除

 どの放送局名を削除しますか？

 お気に入りの放送局

 " お気に入りの放送局 " を削除してよろしいですか？

 はい

 放送局名を削除しました。

" 放送局をすべて削除 "

音声コマンド " 放送局リストの削除 " を使用して、放送局リストのすべての音声タグまたは個別の音声タグを削除できます。


音声認識の例

 放送局をすべて削除

 すべて削除してよろしいですか？


 はい

 すべての放送局名を削除しました

 システムはすべての音声タグを削除します。

または


 いいえ

 システムは放送局リストを読み上げます。

システムが削除する放送局を読み上げた場合：


▶  スイッチを押します。

削除する放送局が選択されます。システムはもう一度その放送局名を読み上げます。

 " お気に入りの放送局 " を削除してよろしいですか？


 はい

 放送局名を削除しました。

 システムは放送局を削除し、放送局リストの残りの登録内容を読み上げます。

または

 いいえ

 操作を終了します。

" 交通情報 "

音声コマンド " 交通情報 " で交通情報に切り替わります。

CD/DVD モード

留意点


警告


走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- CD を聞く
- ディスクを替える
- DVD ビデオモードでタイトルを選択する
- ▶ **DVD を選択する**：マルチファンクションディスプレイの  スイッチを押します。
- ▶ 以下の音声コマンドの一つを発声します。
 - " オーディオ CD "
 - " CD1 "
 - " DVD "/" BGM DVD "

- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明する CD、DVD の音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"CD の説明 "/"DVD の説明 "

音声コマンド "CD の説明 " や "DVD の説明 " を使用して、CD と DVD のすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

" 次の曲 "/" 前の曲 "

以下の音声コマンドを使用して、次の曲または前の曲を選択することができます。

- " 次の曲 "
- " 前の曲 "

"DVD"/"BGM DVD"

音声コマンド "DVD" を使用して、挿入された DVD に切り替えることができます。現在表示されている画面（例：ナビ）を保持したい場合は、音声コマンド "BGM DVD" を使用することができます。

" チャプター 1" から " チャプター 999"

DVD ビデオを見ているとき、音声コマンド " チャプター 1" から " チャプター 999" を使用して、挿入された DVD でチャプターを選択できます。

" 次のチャプター "/" 前のチャプター "

DVD ビデオで、以下の音声コマンドを使用して、挿入された DVD で次のまたは前のシーンを選択することができます。

- " 次のチャプター "

- "前のチャプター"

テレビモード

留意点


警告

常に交通状況に注意を集中してください。



運転を開始する前にテレビ機能に慣れ親しんでください。

交通状況が許すときのみ、音声認識機能进行操作してください。お客様や他の方がけがをするような事故に巻き込まれることがあります。

操作

 車両が動いている間はテレビモードを使用することはできません。

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- テレビをオンにする
- チャンネルを変更する
- ▶ **テレビを選択する**：マルチファンクションディスプレイの  スイッチを押します。
- ▶ 以下の音声コマンドの一つを発声します。
 - "テレビ"
 - "ティーブイ"
- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明するテレビの音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"テレビの説明"

音声コマンド "テレビの説明" を使用して、テレビのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

"シークアップ"/"シークダウン"


以下の音声コマンドを使用して、放送局サーチを開始して、次の放送局を設定できます。


- "シークアップ"
- "シークダウン"

"放送局選択"

この機能は放送局の音声登録がある場合のみご使用いただけます。

音声認識の例

 放送局選択

 放送局名をお話してください

 NHK 総合

音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局 < 放送局名 >"

この機能は放送局の音声登録がある場合のみご使用いただけます。

音声認識の例

 放送局 NHK 総合

音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局リスト読み上げ"と放送局の選択

音声コマンド "放送局リスト読み上げ" を使用して、音声で登録されたすべての放送局のリストを読み上げさせることができます。希望であれば、放送局も選択できます。

外部機器

i 現在表示されている画面（例：ナビ）を維持したい場合は、"BGM メディアインターフェース" のような音声コマンドを使用することができます。

"メディアインターフェース"/ "BGM メディアインターフェース"

音声コマンド "メディアインターフェース"/"BGM メディアインターフェース" を使用して、メディアインターフェースに接続している外部機器に切り替えることができます。

"Bluetooth オーディオ"/ "BGM Bluetooth オーディオ"


音声コマンド "Bluetooth オーディオ"/"BGM Bluetooth オーディオ" を使用して、外部の Bluetooth® オーディオ機器に切り替えることができます。

"iPod"/"BGM iPod"

音声コマンド "iPod"/"BGM iPod" を使用して、メディアインターフェースに接続されている場合は、iPod® に切り替えることができます。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます。

- オーディオ AUX ソースに切り替える
 - メディアインターフェースに切り替える
 - USB に切り替える
- ▶ **アプリケーションを選択する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。
- ▶ 以下に説明する音声コマンドの一つを発声します。

音声コマンド

"説明"

以下の音声コマンドを使用して、外部機器のすべての音声コマンドを読み上げることができます (▶42 ページ)。

- "メディアインターフェースの説明"
- "USB の説明"

オーディオ外部入力は音声認識で操作できません。

オーディオ外部入力

音声コマンド "オーディオ外部入力" を使用して、オーディオ外部ソースに切り替えることができます。

メディアインターフェース

音声コマンド "メディアインターフェース" を使用して、センターコンソールの小物入れ内にある USB インタフェース接続に切り替えることができます。

USB

音声コマンド "USB" を使用して、センターコンソールの小物入れ内にある USB インタフェース接続に切り替えることができます。

概要	34
全般的な音声コマンド	34
電話の音声コマンド	35
ナビゲーションの音声コマンド	35
アドレス帳の音声コマンド	37
オーディオおよびビデオの音声コマンド	38
ミュージックサーチの音声コマンド	39

概要

このセクションには、音声認識機能の操作についての主要な音声コマンドがあります。使用可能な音声コマンドは車両の装備によります。

i 操作を容易にするため、複数の音声コマンドを持っている機能があります。これらは、リストでは区切り線でグループ化され、相互に使用できます。

全般的な音声コマンド

- アドレス帳
- オーディオ CD
- ナビゲーション
- ナビ
- DVD ビデオ
- ラジオ
- 電話
- テレビ
- 説明
- 使えるコマンド
- すべての音声認識機能
- 音声認識の説明
- ラジオの説明
- ラジオで使える音声コマンド
- 電話の説明
- 電話で使える音声コマンド
- アドレス帳の説明
- アドレス帳で使える音声コマンド
- CD の説明
- CD で使える音声コマンド

- DVD の説明
- DVD ビデオで使える音声コマンド
- ナビの説明
- ナビで使える音声コマンド
- メディアインターフェースの説明
- メディアインターフェースで使える音声コマンド

音声認識で以下の音声コマンドを使用できます。

- はい
- 中止
- キャンセル
- いいえ
- 一時停止
- ポーズ
- 戻る
- 訂正
- プリセット 0 - 99
- 次
- 次のページ
- 前
- 前のページ
- <1>-<7>
- 1 行目 -7 行目

電話の音声コマンド

- 電話
- 電話をかける
- 電話発信
- 発信
- 電話帳読み上げ
- 電話帳を読み上げる
- リダイヤル
- 発信履歴
- 着信履歴

電話の音声認識で以下の音声コマンドを使用できます。

- 発信
- リダイヤル
- 確認
- 修正

ナビゲーションの音声コマンド

- ナビゲーション
- ナビ
- 音声案内
- 音声案内オン
- 音声案内オフ
- 詳細
- 広域
- 20m スケール
- 50m スケール
- 100m スケール
- 200m スケール
- 500m スケール
- 1km スケール
- 2km スケール
- 5km スケール
- 10km スケール
- 20km スケール
- 50km スケール
- 100km スケール
- 200km スケール
- 500km スケール
- 1000km スケール
- 最小スケール
- 最大スケール
- ノースアップ
- ヘディングアップ
- 地図向き
- 2D 表示
- スリーディー表示

- コンパス
- VICS 高速表示 /VICS 高速道表示オフ
- VICS 一般道表示 /VICS 一般道表示オフ
- VICS 道路情報表示 /VICS 道路情報オフ
- VICS 渋滞情報表示 /VICS 渋滞表示オフ
- VICS 順調線表示 /VICS 順調線表示オフ
- VICS 規制情報表示 /VICS 規制情報表示オフ
- VICS 情報あり / なし
- 渋滞情報
- 現在地
- 現在の道路
- 目的地設定
- 案内開始
- 案内再開
- ここに行く
- 案内中止
- 目的地の履歴
- 郵便番号
- 郵便番号検索
- 施設
- レストラン表示
- コンビニ表示
- ガソリンスタンド表示
- 駐車場表示
- 銀行表示

- 個人設定表示
- 地図アイコンオフ
- 通過点 1 - 4 設定
- 通過点 1 - 4 削除
- 登録地 1 - 3
- 自宅
- 登録先に案内する
- 有料道路優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 別ルート
- 再検索
- 迂回ルート
- 位置データ
- メモリー地点

アドレス帳の音声コマンド

- アドレス帳
- アドレス帳を読み上げる
- アドレス帳読み上げ
- 登録先を検索
- 位置データがあるアドレス帳の読み上げ

アドレス帳の音声認識では以下の音声コマンドを使用できます。

- 発信
- 検索
- <1> - <7>
- 1行目 - 7行目
- <アドレス帳項目>の自動車
- <アドレス帳項目>の一般電話
- <アドレス帳項目>の携帯
- <アドレス帳項目>のプライベートの携帯
- <アドレス帳項目>の仕事関連の一般電話
- <アドレス帳項目>の仕事関連
- <アドレス帳項目>のプライベート
- 仕事関連
- 自動車
- 自動車電話
- 一般電話
- 携帯
- 携帯電話

- 仕事関連の自動車
- 仕事関連の自動車電話
- 自動車電話 仕事関連
- 仕事関連の一般電話
- 一般電話 仕事関連
- 仕事関連の携帯
- 仕事関連の携帯電話
- 携帯電話 仕事関連
- 自宅
- プライベートの自動車
- プライベートの自動車電話
- 自動車電話 プライベート
- プライベートの一般電話
- 一般電話 プライベート
- プライベートの携帯
- プライベートの携帯電話
- 携帯電話プライベート

オーディオおよびビデオの音声コマンド

ラジオ

- ラジオ

ラジオがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

- 76.0 - 90.0
- 76.0 メガヘルツ - 90.0 メガヘルツ
- 周波数 76.0 - 周波数 90.0
- 周波数 76.0 メガヘルツ - 周波数 90.0 メガヘルツ

- FM
- AM

• 次の放送局

• 前の放送局

• 放送局 < 放送局名 >

• 放送局選択

• 放送局リスト読み上げ

• プリセット 1

CD/DVD プレーヤー

- CD 1 - 6
- BGM CD
- オーディオ CD

CD プレーヤーがオンのとき、以下の音声コマンドを使用できます。

- トラックアップ
- 次の曲

- 前の曲
- トラックダウン

- トラック 1 - トラック 99
- 1 曲目 - 99 曲目

ハードディスク

- ハードディスク
- ミュージックレジスター
- BGM ミュージックレジスター

メディアインターフェース

- メディアインターフェース
- BGM メディアインターフェース

テレビとビデオ

- DVD
- BGM DVD

- テレビ
- ティーブイ

• 次の放送局

• 前の放送局

• 放送局 < 放送局名 >

• 放送局選択

• プリセット 1 - プリセット 12

• チャプター 1 - チャプター 999

• 次のチャプター

• 前のチャプター

メモリーカード

- メモリーカード
- SD カード
- BGM メモリーカード

USB

- USB
- BGM USB
- USB メモリー

Bluetooth® オーディオ

- Bluetooth オーディオ
- BGM Bluetooth オーディオ

iPod®

- iPod
- BGM iPod

ミュージックサーチの音声コマンド

- 曲を探す
- フリー検索⁵
- アルバムで検索
- 曲名で検索
- アーティストで検索
- 作曲者で検索
- リリースされた年で探す⁵
- ジャンルで検索
- プレイリストを探す⁵
- ランダムモード
- ノーマルモード
- 曲情報あり
- 曲情報なし

5 iPod® がメディアインターフェース経由で接続されている場合はミュージックサーチには使用できません。

トラブルの解決方法……………42

トラブルの解決方法

ヘルプ機能

音声認識機能は、利用者を支援する広範囲のヘルプ機能を持っています。

音声認識機能のヘルプ機能には以下のものがあります。


- 音声認識機能の最適な操作における注意事項
- 可能な音声コマンドのリスト

ヘルプの音声コマンド

" 音声認識の説明 "

音声コマンド " 音声認識の説明 " を使用して、音声認識機能の最適な操作方法についての情報を得ることができます。

" 説明 "

- ▶ マルチファンクションステアリングの  スイッチを押して、音声コマンド " 説明 " を発声します。

現在選択されているアプリケーションの説明を聞くことができます。

音声対話中に音声コマンド " 説明 " を発声した場合は、どのように対話を続けるかの説明を受け取ります。例：音声コマンド " 電話をかける " を発声した後

音声コマンド " 電話の説明 " を使用するなどして、特定のシステムのヘルプ機能を要求することもできます。



ヘルプ表示を作動させると、可能な音声コマンドの候補をディスプレイで確認できます (▷46 ページ)。

数字を入力する

数字を入力する

- "0" から "9" の数字を使用できます。
- 電話番号を 3 から 5 桁のブロックで発声します。

音声認識を改善するために

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
音声認識機能がお客様を理解しない。	<p>運転席から音声認識機能进行操作していない。 ▶ 運転席からのみ音声認識機能进行操作します。</p> <p>強調しすぎたり、とても大きく、またはとても小さく話している。 ▶ 強調しないで、わかりやすくはっきりと音声コマンドを話します。</p> <p>風量が最も高い設定になっている、または開いている窓からの風の音がする。 ▶ 大きな音の干渉を防ぎます。</p>
アドレス帳の項目が認識されない。	<p>アドレス帳に入力された名前と入力された名前の発音が大きく異なっている。または書かれているように発音されていない。 ▶ アドレス帳の項目が適切であることを確認します。 アドレス帳項目の以下のことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 姓と名などの氏名項目が正しい欄にある • 略語や頭文字が使われていない • 氏名に不必要なスペースがない • 特別な文字が使用されていない • よみがな欄でカタカナを使用している <p>▶ 音声コマンド"アドレス帳読み上げ"を発声します。 音声認識機能がアドレス帳を読み上げます。</p> <p>▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。</p>
放送局リストの項目が認識されない。	<p>▶ 音声コマンド"放送局読み上げ"を発声します。 音声認識機能が放送局リストを読み上げます。</p> <p>▶ 希望する放送局が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。 放送局が選択されます (▶27 ページ)。</p>

ヘルプ表示	46
音声認識学習	46
言語設定の変更	48

ヘルプ表示

ヘルプ表示を使用して、有効な音声コマンドの候補をディスプレイに表示できます。話し始めるとただちに音声コマンドは非表示になります。

COMAND システムの **設定** メニューでヘルプ機能のオン / オフを切り替えることができます。

COMAND システムの構成や動作原理については対応する取扱説明書にあります。

ヘルプ表示のオン / オフを切り替える

- ▶  スイッチを押します。

または

- ▶ 基本機能メニューバーの **設定** を選択します。

システムメニューが表示されます。

- ▶ **設定** → **音声認識設定** を選択します。

- ▶ **ヘルプ表示** を選択します。

ヘルプ表示をオン またはオフ に切り替えます。

音声認識学習

音声認識学習を使用して、音声認識機能をお客様自身の声に微調整し、音声認識を向上させることができます。

音声認識学習は、車両が停車しているときのみ開始できます。セッションが開始すると、音声指示でシステムがトレーニングの説明をします。

i 音声認識学習が作動している場合、他の利用者の音声認識の質に影響を与えることがあります。他の利用者の音声認識の質を損ねる場合には、音声認識学習をオフにします。

音声認識学習は 2 部で構成されています。1 部目では数字、2 部目では特定の音声コマンドのシステムの音声認識学習を行います。

システムはいつでも出荷時の設定にリセットできます。

i 音声認識学習は完全に行なう必要はありません。数字の学習をすることで、認識率は大きく改善されます。1 部目の後に学習を中止することができます。

COMAND システムの構成や動作原理については対応する取扱説明書にあります。

新しい音声認識学習を開始する

- ▶  スイッチを押します。

または

- ▶ 基本機能メニューバーの **設定** を選択します。

システムメニューが表示されます。

- ▶ **設定** → **音声認識設定** → **音声認識学習を開始する** を選択します。

さらに情報が必要かどうかをたずねるメッセージが表示され、聞こえます。

▶ はいまたは いいえ を選択します。

- **いいえ** を選択した場合は、音声トレーニングの最初の部分が始まります。
- **はい** を選択すると、さらに情報が表示され、聞こえます。

数字または音声コマンド⁶ 音声認識学習したいかをたずねるメッセージが聞こえます。

1 部の終わりに、2 部目を開始したいかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

▶ はいまたは いいえ を選択します。

- **いいえ** を選択すると、音声認識学習が中止されます。1 部目のデータは自動的に登録されます。
- **はい** を選択すると、2 部目が開始します。

2 部目が終了すると音声認識学習は完了します。この結果に対するメッセージが表示されます。2 部目のデータは自動的に保存されます。

音声認識学習の 1 部目または 2 部目の中止

▶ **中止** を選択します。

本当に中止したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はいまたは いいえ を選択します。

- **はい** を選択した場合は、音声トレーニングが中止されます。終了した部分からのデータは保存されません。
- **いいえ** を選択すると、進行中の部分が再び開始されます。

既存の音声認識学習結果を削除する

▶  スイッチを押します。

または

▶ 基本機能メニューバーの **設定** を選択します。

システムメニューが表示されます。

▶ **設定** → **音声認識設定** → **音声認識学習結果を削除する** を選択します。

本当に削除したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はいまたは いいえ を選択します。

音声認識学習の作動 / 停止

▶  スイッチを押します。

または

▶ 基本機能メニューバーの **設定** を選択します。

設定メニューが表示されます。

▶ **設定** → **音声認識設定** → **音声認識学習結果を利用する** を選択します。

音声認識学習のオン またはオフ を切り替えます。

言語設定の変更

システム言語を変更して音声認識機能の言語を変更することができます。

音声認識機能は、日本語と英語で使用可能です。

▶  スイッチを押します。

または

▶ 基本機能メニューバーの **設定** を選択します。

設定メニューが表示されます。

▶ **設定** → **言語 /Language** を選択します。

▶ 希望の言語を選択します。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

<http://www.mercedes-benz.co.jp>

編集オフィス

©Daimler AG: Daimler AG の書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複製、翻訳または複製することはできません。

総輸入元

メルセデス・ベンツ日本株式会社

〒106-8506 東京都港区六本木一丁目9番9号 六本木ファーストビル

環境保護のため、この取扱説明書は再生紙を使用致しました。

MBJCSD 34500-081303000 A

6515 3565 20 ÄJ 2013-Mb, 07/13